

AI で伝わる文章作成をサポート「Langsmith Cowriter」を提供開始
執筆プロセスに合わせて AI が支援。下書き作成から推敲、レビューまで。



企画書・ブログなど「書くこと」を仕事にしている方へ
書くストレスを減らし、執筆を効率化

伝わる文章作成を AIでサポート

執筆プロセスに合わせてAIが支援。下書き作成から推敲、レビューまで。

AI による文章執筆支援を提供する Langsmith 株式会社（東京都豊島区、代表取締役：後藤 高志）は、AI エディター「Langsmith Cowriter／ラングスミス コライター（<https://langsmith.co.jp>）」を提供開始しました。初回 7 日間の無料トライアルがあります。

Langsmith Cowriter は、論理的な構成力が求められるビジネス文書から、感性が重視される創作活動まで、企画書・広報資料・研究レポート・ブログ・小説など、あらゆる「書く」シーンで伴走する専属編集者として機能し、下書き作成だけでなく、改善提案やレビューを通じて仕上げまで支援します。

独自の「AI レビュー」機能により、自分ひとりでは気づけない論理破綻や説明不足を AI が客観的に洗い出し、第三者視点を取り入れた執筆プロセスで、確実に「伝わる」文章へと磨き上げます。さらに、AI ワークフローを搭載し、目的にあった機能テンプレート（構成分析・矛盾チェック・文章比較など）を活用することで、文章作成を効率化します。



Langsmith Cowriter

AIが伴走する執筆プロセス



【開発背景と特徴】

文章執筆は、計画、初稿作成、推敲、校正といった複数の工程を行き来しながら完成へと近づいていきます。生成 AI の進化により、文章作成は補助を受けながら進められるようになり、生産性も高まりました。しかし、生成 AI の多くは、チャット形式のインターフェースで、文章執筆に適したものではありません。

Langsmith Cowriter は、プロンプト試行への過度な依存を避け、執筆作業を円滑に進められる体験を重視し、初稿作成、推敲、仕上げといった執筆プロセスに応じて、適切なサポートが受けられるように設計しています。生成結果をそのまま利用するのではなく、表現調整や改善提案、レビューといった編集工程を前提に、文章の品質を段階的に高めることが可能です。

Langsmith Cowriter を使うことで、次の 3 点が実現できます。

- **直すべき箇所が特定できる**：AI が指摘箇所とあわせて、読みづらさの原因（冗長・論理の飛躍・主語の曖昧さ等）を根拠つきで提示します
- **直し方を選べる**：AI が意図を保ったまま複数の修正案（短くする／丁寧にする／論理を補う等）を出し、比較して採用できます
- **AI レビューで洗い出せる**：AI が第三者視点のレビュアーとして文章全体を確認し、懸念点・不足情報・矛盾・分かりにくさを洗い出します

【主な AI 機能】

Langsmith Cowriter は、執筆の流れに沿って「いま必要な作業」を選択できるように機能を用意しています。

■AI による修正提案

文章の意味や内容を大きく変えずに、複数の言い回し候補を提示し、最適な表現を「選ぶ」ことで改善できる機能です。硬い表現や冗長な文章を自然に整えたいときや、同じ意味の別表現を比較したいときに有効です。

AIによる修正提案

2. 書き換え（選択ツールバー）

文章の一部だけを狙って直すときに使います。

簡潔に 詳細に AIに指示を出す...

一部のみを修正する場合に用います

「だけを狙って直す」を「のみを修正する」とすることで、よりフォーマルで簡潔な表現になっています。

部分的な修正に利用します

「一部だけを狙って直すときに使います」を「部分的な修正に利用します」とすることで、より簡潔で自然な表現になっています。

複数の修正候補から最適な表現を選択

修正理由を根拠つきで提示

■レビューチャット

「この段落の主張を強くしたい」「具体例を足したい」「読者に伝わるか不安」といった相談相手が欲しい場面で、専門家の視点で応答する AI（例：教授や上司ロールの AI）がアドバイスをくれます。

レビューチャット（第三者視点でレビュー）

レビュー者を選択
レビューを担当するレビュー者を選択してください

鈴木教授
大学教授。論文執筆と査読の観点で、主張・論理・先行研究・論理を重視する読者

高橋教授
大学教授。研究倫理と論文の一貫性を重視し、主張の明確さと先行研究の位置づけを厳密に見る読者

佐藤マネージャー
会社の上司。チームの成果と判断材料の明確さを重視し、結論と根拠の繋がりをよく見る読者

伊藤マネージャー
会社の上司。意思決定に必要な論点と根拠の明確さを重視し、結論の明確さと説得力を重視する読者

田中さん（先生）
大学教授。ゼミ・研究発表・修士論文を見据えて、主張の筋・関連研究・検証手段の明確さを重視する読者

中村さん（先生）
大学教授。研究発表と修士論文を見据えて、主張の筋と検証手段の明確さを重視する読者

レビューチャット

伊藤マネージャー

今の文章どうでしょうか？わかりやすいですか？

5秒間考えました

（前提として本文を拝読しました。以下、上司としての視点で短く要点を整理します。）

1. 目的と期待する判断は一文で示されているか

確認結果：はい。冒頭の「Langsmith Cowriterは、AIがあなたの文章執筆を強力にサポートしてくれるシステムなんです。」が目的・主張の一文になっています。

指摘：ただし口語的な表現で断定力が弱く、意思決定や導入判断を促す用途には結論の言い切り（例：「執筆効率を大幅に改善します。」）を明確にした方が良いでしょう。

【利用シーン】

「書き出しに悩む」「言葉が出てこない」「独りよがりになっていないか不安」——。
Langsmith Cowriter は、こうした執筆の悩みを解決し、以下の幅広い用途で活用できます。

企画・提案書 / プレゼン原稿 / 仕様書 / 論文：論理の飛躍を防ぎ、説得力を向上
プレスリリース / お知らせ / 採用広報：読み手に伝わる適切なトーン＆マナーへ補正

小説 / ブログ / SNS : 誤字脱字のチェックから、構成のブラッシュアップまで

【料金プラン】

月額 1,500 円の単一プランです。

＼ まずは 7 日間、無料でお試してください ＼

「自分の文章がどう変わるのか」を実際にご体感いただくため、機能制限なしの無料トライアルをご用意しました。

※期間内にキャンセルすれば料金は一切かかりません。

アカウント作成後、すぐに執筆支援・AI レビューを開始できます。

サービス利用開始はこちら（サービス紹介サイト）

【今後の展開】

今後は、より多様な執筆領域でのテンプレート拡充、品質チェック機能の強化、作業効率を高める周辺機能の拡張を進め、執筆体験をさらに向上していきます。

【会社概要】

社名： Langsmith 株式会社（ラングスミス）

本社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1

メンバー：

代表取締役	後藤 高志	MLS 取締役	弁護士
共同創業者	伊藤 拓海	博士（情報科学）	
共同創業者	栗林 樹生	博士（情報科学）	
取締役	森山 雅勝	MLS 代表取締役社長	

設立： 2018 年 5 月

事業： 自然言語処理、ディープラーニングを使った文章推敲支援人工知能システムの開発

URL： サービス紹介サイト <https://langsmith.co.jp/>

コーポレートサイト <https://corp.langsmith.co.jp/>

Langsmith 株式会社はマシンラーニング・ソリューションズ株式会社（MLS）の子会社になります。MLS は、トランスコスモス株式会社、株式会社フジ・メディア・ホールディングス傘下の株式会社フジ・スタートアップ・ベンチャーズ、チームラボ株式会社を株主に、2017 年 9 月より事業を開始しました。機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業と機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業を展開しています。

MLS は今後とも、機械学習サービス・ソリューションの開発をより一層推進していきます。

MLS 概要

社名： マシンラーニング・ソリューションズ株式会社

本社： 東京都豊島区東池袋 3-1-1

役員： 代表取締役社長 森山 雅勝

設立： 2017 年 5 月

事業： 機械学習関連の技術支援・コンサルティング事業

機械学習関連ビジネスを行うベンチャー企業に資金支援と技術支援を行うインキュベーション事業

URL： コーポレートサイト <https://machine-learning.co.jp/>

※ マシンラーニング・ソリューションズは、マシンラーニング・ソリューションズ株式会社の日本における登録商標または商標です
※ その他、記載されている会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です

報道関係者お問い合わせ先

Langsmith 株式会社 管理部 米村

Email : pr@langsmith.co.jp